



うちだ なめかた
内田・行方の

地域おこし協力隊が行く

Vol.12

地域おこし協力隊の内田 一誠さん、行方 和之さんの活動をご紹介します。



内田隊員



羽幌町子どもフェスティバルに参加しました！

5月17日（日）、中央公民館にて「第33回羽幌町子どもフェスティバル」が開催され、私は運営スタッフとして参加しました！

会場内では、羽幌オロロン太鼓の会やLUSH☆Dance Schoolなどによるステージ発表のほか、飲食ブース、科学実験コーナー、エアースライダーなどの体験もあり、子どもたちが喜ぶものばかりでした。

私は縁日ブースで体験できる「かたぬき」を担当し、子どもたちが上手にできるよう見守り、時にアドバイスをしながら楽しく対応をさせていただきました。

このイベントを通じて感じることは、子どもたちが主役となって体験できる楽しさはもちろん、地域全体で子どもたちの成長を見守り、応援する温かな雰囲気です。地域おこし協力隊として、このような素晴らしいイベントに携われることを、大変意義深く感じています。今後もイベントへの参加を通じて地域の方々と交流を深めつつ、私自身も新しい企画に挑戦していきたいと考えています。イベントなどで見かけた際は、ぜひお声がけください！



行方隊員

北海道教育大学岩見沢校で意見交換



地域おこし協力隊としての活動も、令和9年3月で3年間の任期満了を迎えます。任期後の定住に向けて、ゲストハウスの開業など準備を進めていますが、これからの活動について北海道教育大学岩見沢校のまちづくりデザイン研究室を訪問し、学生のみなさんと意見交換する機会がありました。当日は、羽幌へ移住したきっかけや、私が目指している「羽幌の自然や人の魅力に触れながら若い世代が気軽に集い、地域と関われる交流の場となるような宿」について紹介しました。

学生のみなさんからは「協力隊の実際の活動は？」「地域で暮らすとは？」といった質問が多く寄せられ、活発な意見交換の場となりました。ほかにも「ぜひ羽幌を訪れてみたい」という声もいただけて、羽幌に興味を持ってくれたことがとてもうれしかったです。今回のご縁を生かし、北海道教育大学岩見沢校の学生と羽幌を結ぶ新たな交流の機会も生み出していきたいと考えています。これからも羽幌の魅力を次世代へつなぐ取り組みを進めていきたいと思っています。